

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成20年5月20日 第31号

CONTENTS

1 コラム

【1】『山笑ふ』（木材利用課長）

2 施策紹介

【1】山地災害に備える 山地災害防止キャンペーン

3 当庁の動き

【1】『美しい森林づくり』に向けて - 平成20年度国有林野事業主要取組事項 -

【2】第2回「間伐材チップの紙製品への利用促進に係る意見交換会」の概要について

【3】第3回山村再生に関する研究会の概要について

【4】第7回「森の“聞き書き甲子園”」の実施について

4 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

5 その他の情報（イベント情報等）

イベント情報

【1】「シンポジウム 木造伝統構法」

規格に駆逐される人間のわざ

木を生かす伝統構法を見直すためにー

【2】第59回全国植樹祭

お知らせ

【3】平成19年度森林・林業白書について

【4】「緑の募金でふせごう地球温暖化」

美しい森林づくりのため、緑の募金に御協力を！！

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

## 1 コラム

### 1】『山笑ふ』（木材利用課長）

今回は、岩本（いわもと）木材利用課長より『山笑ふ』と題して、時代と共に移り変わる人と自然（山）との共生についてお話しします。

山笑ふという言葉から、あなたは何を想像しますか。「臥遊録」という中国の書物に「春山淡冶にして笑うが如く、夏山蒼翠にして滴るが如く、秋山明浄にして粧うが如く、冬山慘淡として眠るが如し」というのがあり、これを原典として日本では、山笑ふ（春）山滴る（夏）山粧ふ（秋）山眠る（冬）と、山を擬人化して俳句が創られてきました。

日本人は自然を生活の一部として共に生きてきたのです。江戸の俳人が見た山は、今私達が見ている山と大きく違っていたのでしょうか。俳人は「景」を凝視し、その「景」が心に言葉を呼びかけてくるまで待っています。日本の四季が創り出す山の移ろいは、今も昔もそれほど変わらないのかもしれませんが。

しかし、日本人が山を利用する姿は大きく変わってしまいました。効率性で山の資源は石油や鉄鉱石に負け、結果として、世の中はたいへん便利になりました。その世の中が、今、変わろうとしています。便利さの追求によってもたらされた地球温暖化への挑戦です。地下資源の活用から山で生み出される生物資源への置き換え（リプレイス）が、今後、ますます重要となってくるでしょう。「山泣する」という季語を子供達に残さないためにも。

## 2 施策紹介

### 【1】山地災害に備える 山地災害防止キャンペーン

近年、局地的豪雨等により、山崩れ、土石流等の山地災害が多発しており、平成19年も、梅雨前線豪雨、台風第4号、台風9号、能登半島地震、新潟県中越沖地震災害等により、山崩れなどが発生し、国民生活に大きな被害を及ぼしました。

このような中、林野庁では、今年も都道府県及び市町村と一体となって、「山地災害に備えよう！」を合い言葉に、梅雨期を迎える5月20日から6月30日までを実施期間とする「山地災害防止キャンペーン」を推進します。

山地災害の未然防止するための諸活動に、ご協力いただくようお願いします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyokai/saigai/saigaitop.html>

## 3 当庁の動き

### 【1】『美しい森林づくり』に向けて - 平成20年度国有林野事業主要取組事項 -

国有林野事業の平成20年度における主要な取組事項を取りまとめましたのでお知らせします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keiki/080425.html>

## 【2】第2回「間伐材チップの紙製品への利用促進に係る意見交換会」の概要について

間伐材チップの紙製品への利用にあたっての課題の解消策及び取組の方向性について意見交換を行いましたので概要をお知らせします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/mokusan/080502.html>

## 【3】第3回山村再生に関する研究会の概要について

第3回山村再生に関する研究会の概要をお知らせします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson/080502.html>

## 【4】第7回「森の“聞き書き甲子園”」の実施について

「森の“聞き書き甲子園”」とは全国の高校生100人が森とともに生きる知恵や技を持つ「森の名手・名人」を訪ね、その知恵や技術、人となりを“聞き書き”し、記録・発表を行う活動です。実施に当たり参加を希望する高校生等を募集します。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hozen/080515.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/index.html>

## 4 緑化に関する情報

### 【1】森林ボランティア活動情報

森林ボランティア活動の情報

全国各地でボランティアによる森林づくり活動が活発に行われています。

(社)国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

## 5 その他の情報（イベント情報等）

### イベント情報

#### 【1】「シンポジウム 木造伝統構法」

規格に駆逐される人間のわざ 木を生かす伝統構法を見直すために－  
堂宮大工と研究者等によるパネルディスカッションを通し、伝統工法による木造建築の良さと木造建築を取り巻く社会環境を整理するとともに、今後必要とされる取組みについて検証します。

開催日：2008年6月7日（土）

場 所：東京大学農学部弥生講堂

地下鉄南北線 / 東大前駅下車3分

主 催：文化遺産を未来につなぐ森づくりの為の有識者会議

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.bunkaisan.jp/schedule/archives/2008/04/67.php>

#### 【2】第59回全国植樹祭

全国植樹祭は、国土緑化運動の中核をなす行事として昭和25年以来、天皇皇后両陛下の御臨席の下、全国各地からの参加を得て、両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に毎年開催されています。

今年の第59回全国植樹祭は、「手をつなごう 森と水とわたしたち」を開催テーマに秋田県北秋田市の県立「北欧の杜公園」で開催されます。

開催日：2008年6月15日（日）

場 所：秋田県北秋田市 県立「北欧の杜公園」

主 催：（社）国土緑化推進機構、秋田県

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.pref.akita.jp/zenshoku/>

### お知らせ

#### 【3】平成19年度森林・林業白書について

5月13日に閣議決定された平成19年度森林・林業白書の概要を、林野庁ホームページに掲載していますのでお知らせします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyoukai/19hakusyo/mokuji.htm>

#### 【4】「緑の募金でふせごう地球温暖化」

美しい森林づくりのため、緑の募金に御協力を！！

春の緑の募金運動が1月15日から5月31日まで、社団法人国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会の呼びかけにより実施中です。

御協力頂いた緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子供たちが行う体験林業などの取組に役立てられています。

「美しい森林づくり」に向けて、緑の募金への皆様の御理解と御協力をお願い致します。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/>

## 編集後記

いよいよ東北では山菜シーズンとなりました。山菜採りに山へ行かれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私は東北の山間で生まれ育ったこともあり、山菜は大変身近なものであり好物。特に「たらの芽」「コシアブラ」の天ぷらが大好きです。食べている時は、改めて自然の恵みに感謝する瞬間です。

しかし、山菜採りに行ったことは数える程度しかありません。今度は食べるだけでなく、山菜採りへ山に行き、森林浴をしながら収穫の楽しさを味わいたいと思っています。

みなさんも、山菜採りへ行かれる際はケガの無いよう、十分気をつけて楽しんでください。

ご意見をお寄せ下さい。

ご意見、ご要望、または、転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

## ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧頂くためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/index.html>

をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

## 編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関 1-2-1

林野庁 広報室 TEL 03 - 3502 - 8026

E - m a i l :

[https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM\\_NO=82](https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82)

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の受付及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで受付をお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/can.html>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>